

内閣府が今年二月、全国の十五歳以上の男女一万人を対象に防災に関する意識や活動について調査を実施したところ、大災害発生の可能性について63%の人が「ほぼ確実に発生の可能性が大きい」と回答。

防災意識の定着を



広丘野村 京子さん
こまつ 小松

「取り組んでいない」と回答している。「まさか」「まさかではない」と言われる昨今、防災に対してしっかりと自覚する必要がある。それぞれが「自分の身は自分で守る」という信念をもって備えをする。「自助」を確立し、次に共助（協助）そして公助の理想的なマッチングのもとに安心・安全なまちづくりができると思つ。塩尻市が各家庭に配布してある「塩尻市防災ガイドブック」、「ハザードマップ」等々を活用し、避難訓練への参加など、災害に対する日頃の心がまえを大切に考えたい。

市民の声

今年4月から市内全域の小中学校で「コミュニティ・スクール」がスタートしました。私が住む洗馬の小学校では、親しみやすい「コミュニティ・スクール」の名前をつけて「洗馬っこスクール」として活動を始めています。



洗馬太田 克実さん
おおぐり 大栗

今年4月から市内全域の小中学校で「コミュニティ・スクール」がスタートしました。私が住む洗馬の小学校では、親しみやすい「コミュニティ・スクール」の名前をつけて「洗馬っこスクール」として活動を始めています。ところで同校には、昭和9年（82年前）に地元の方から寄贈された大変価値のあるグランドピアノがあり、古くて使えなくなっていました。思い出が詰まったピアノを地域の力で修復しようという立ち上がりでしたが、高額な修復費の援助が得られないため、洗馬を中心にそれ以外の方々からも寄付金をお寄せいただき、見事に甦りました。ピアノは学校のポラントイアールームに置かれ、地域の人も一緒に活動できる場となりました。今後、「コミュニティ・スクール」も同様に地域と学校が一体となり、活性化に繋がることが願っています。

市議会だよりの歩み



第1号（昭和45年4月28日発行）



第100号（平成5年10月15日発行）

市議会だより200号の発行を迎えて



「しおじり市議会だより」は、昭和45年4月28日発行の第1号から数えて、今回で200号を迎えることとなりました。

この市議会だよりは、常に市政に関わる重要な情報を市民の視点からとらえ、市民の皆さまへ情報発信する役割を担ってきました。また、単に議会で決定したことを掲載するだけでなく、議会定例会での審議内容をありのままに

伝え、より分かりやすい紙面構成や内容の充実にも努めてまいりました。これからも塩尻市議会は、塩尻市の将来を市民の皆さまとともに考え、より開かれた議会を目指します。この「しおじり市議会だより」が、その一端を担い、今後もしっかりやすく親しまれるものとなるように努めてまいりますので、皆さまの温かいご支援ご協力をお願い申し上げます。

議長 金田 興一

12月定例会の予定

11月30日	開会日
12月 8日	代表・ 一般質問
9日	
12日	
13日	
14日	委員会
15日	
16日	
21日	閉会日

会議の日程は変更になる場合があります。

本会議を生中継しています！
テレビ松本ケーブルテレビの「塩尻市行政チャンネル(J706)」で市議会本会議の生中継を行っています。本会議開催の一週間後に録画放送も行っていきます。また、市議会ホームページでもインターネットによる生中継・録画放映を行っています。ぜひご覧ください。



「広報紙」は「マチイロ」にリニューアルされました。マチイロは広報紙をスマートフォンやタブレットなどで読むことができる無料アプリです。登録の広報紙が発行されるとお知らせが届く機能や、記事を切り取って保存できる機能など、より気軽に広報紙をお楽しみいただけます。

※「i」広報紙をご利用中の場合、新たにインストールをする必要はありません。
Google play: <https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.hope.ikouhoushi>
App Store: <http://itunes.apple.com/jp/app/id855062660>



「しおじり市議会だより」をリニューアル

本号で記念すべき第200号を迎え、次の点を主に変更しました。

- ・表紙デザインの変更
 - ・各ページ下部に「寄附行為禁止事項」の掲載
 - ・予算審査、決算審査を細かく掲載（本号P4〜P5）
- ※議会あれこれ、今回休みました。

- ◎ 山口 恵子 ○ 篠原 敏宏
○ 小澤 彰一 ○ 平間 正治
◎ 横沢 英一 ○ 丸山 寿子
- ◎ 部長 ○ 副部長
- 議会基本条例推進委員会
広報部会